

部奈



縄文、南北朝、江戸から今日まで、ずいっと人々は白い雪を頂くこのアルプスを見てきました。この石も木も、ここに暮らした人々と、喜び悲しみを共にしてきました。風に揺れる花は楽しい思い出を語っています。飛び跳ねる虫達は、昔の人に負けるなど励ましています。ここには今も、昔と同じ風が吹いています。あなたも日本の原風景の中で、風と話してみませんか。

部奈



交通のご案内

中央自動車道
松川インターより
車で約15分

さとやま自然園からの中央アルプス



問い合わせ先

アルプスビューファームズ 部奈
☎090-1865-4433

縄文遺跡 お祭り広場



●縄文のお祭り広場

石組みを取り囲んだ縄文の人々の歓声が聞こえますか。子孫繁栄と豊穡を祈っています。このような祭祀の遺跡が出土するのは珍しいとのこと。部奈はその頃から安全で住みやすい場所で、多くの人々が住んでいたと思われます。目の前に見える白い峰は神の降り立つ神聖な山だったのでしょうか。

桃の井城跡と建神社

南北朝の昔、桃の井城の娘「お建」は京に上り、後醍醐天皇の娘「巖子内親王」に仕えておりました。南朝方は戦況思わしくなく、姫と共に故郷へ落ち延びる途中、飯田で火あぶりの刑になってしまいました。それから650年、お建さまを里帰りさせようと、清内路の建神社から分祀をうけ、生まれた地、桃の井城跡に部奈建神社が建立されました。



●平成19年建立 部奈建神社

生魂神社と疎水記念碑



●疎水記念碑、その奥が生魂神社

高台に位置する部奈は、昔から水に苦労していました。江戸時代の末、大鹿村からはるばる引水する大工事を、皆の努力で行ないました。工事に携わった人たちは生魂神社に祀られ、今もこの地を守っています。その後、昭和の初め、事業を顕彰し疎水記念碑が建てられました。



オの神の石仏

部奈には●印を付けた所などに100ほどの石仏・石碑があります。

揚水記念碑

中部電力生田発電所へ送る水路からの揚水を記念して建てられました。

生魂神社(屏解説参照)

疎水記念碑(屏解説参照)



山口公園 大堤

部奈に4つある溜池の中で、最も大きな堤です。風のない日に水面に映るアルプスは格別です。



ノアザミとジャコウアゲハ



ヒトリシスカ



ヤマホタルブクロ



日影林遊歩道(赤紫点線)

一周約2km、案内板があります。

天神様

お不動様(成田不動尊)

桜公園(養成中)

部奈文化伝承センター 部奈地区の公民館です。

前田諏訪神社

建築様式に則った立派な社殿。
※この神社の桜を含め、部奈には●印の箇所に計4本の桜の古木があります。

駐車場・トイレ

道路より一段高い、前田諏訪神社の前庭にあります。ご利用ください。

部奈店

アルプスビューファームズ部奈のふれあいの場です。お立寄りください。
“部奈の酒”の販売もしております。
周遊道・遊歩道の出発点です。

部奈文化伝承センター

部奈地区の公民館です。



チンバ神様

巖子内親王を祀った神社。

周遊道(赤紫線)

一周約4km、案内板があります。

グレースの森

行政の補助金と、田崎真也様の寄附で行なった里山整備林。

縄文遺跡(屏解説参照)

桃の井城跡・建神社(屏解説参照)



クマガイソウ



田植えの風景

農作物は、赤土土壌のため味が良いと言われます。米のほかにも、りんご、梅、野菜、花などが栽培されています。

至 飯田

円満坊

企業局発電所

サージタンク

生田発電所水槽

生田発電所

天竜川

宮ヶ瀬橋

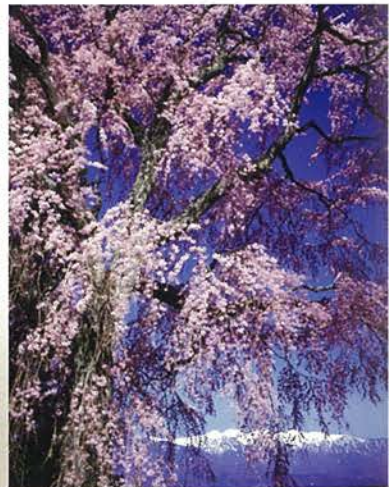
至 松川インター
伊那大島駅
国道153号線

展望公園 源氏ソレ

伊那谷有数の眺望。天竜川やその西岸、さらに中央アルプスを一望できます。

部奈さとやま自然園

里山の中に、季節の山野草が咲きます。この桜も樹齢100年ほどの古木です。枝下に見えるアルプスがきれいです。



至 小渋ダム・大鹿村

中川村

仮橋
※軽自動車通行可